

C O N T E N T S

-  **P. 02** **JCSSA Activity Report**
新入社員セミナー

-  **P. 03** **JCSSA Activity Report**
SAJ × JCSSA 共催
第167回 SAJ ビジネスコミュニティ
第12回新会員歓迎懇親会

-  **P. 04** **JCSSA Activity Report**
管理職研修（前半）
2026年度第1回セキュリティセミナー
関西交流会

-  **P. 05** **Special Issue**
定時総会／サマーセミナー／懇親会

-  **P. 06** **New Member!**
新会員紹介

-  **P. 07** **JCSSA INFORMATION**
JCSSA のイベント

-  **P. 08** **JCSSA INFORMATION**
理事のオフショット
事務所のご案内

副会長挨拶



一般社団法人
日本コンピュータシステム販売店協会

副会長 **溝口泰雄**

“As Is” is dead.

年度の第1四半期が締められました。半導体高騰や円安、地政学など課題が山積みな中で、どのような新年度のスタートを切られましたでしょうか。

2026年の日本のIT市場は約28兆円規模で、全体としては2～3%の成長で停滞気味と予測されています。しかし重要なのは、その中身です。PCや従来型のサーバーが低成長にとどまりそうな一方で、クラウドや生成AI、データセンター、セキュリティといった領域は二桁成長となり、生成AIに至っては数十%という非常に高い成長を続ける見込みです。

つまり、IT市場は停滞しているのではなく、“成長領域がシフトしている”と言えるのではないでしょうか。これからは、PCや従来型のインフラだけでなく、成長市場にリソースを集中することが、企業成長の鍵になります。

弊社のキックオフで、社員に“*As Is*” is dead.（「現状維持」の打破）という言葉を示しました。せっかく成長領域が次々と生まれるIT業界にしながら、そのチャンスを見逃してはいけません。今起きているAI革命は今までの変化とは違い、製品が入れ替わるだけでなく事業モデルの変化も伴います。

微力ながらJCSSAもお手伝いさせていただき、皆様とご一緒に業界全体で新たな成長領域を牽引する役割を果たしたいと思います。

2026年7月20日

【発行】日本コンピュータシステム販売店協会広報委員会

【発行人】田辺 正昭

【編集人】窪田 大介

【編集長】小山 敏之

【制作】株式会社BCN

新入社員セミナー

April

4月

会員企業の新入社員 1618 名がスタートラインに

AI 時代の コミュニケーションを学ぶ

4月14日、東京の文京シビックホール・大ホールで、会員企業向けに2026年度の「新入社員セミナー」を開催した。47社から1618名が参加した。

冒頭にJCSSAの林宗治会長があいさつし、協会の成り立ちを紹介。現在のIT業界について、マーケットは拡大しているものの、技術者が不足しており、「1社だけでは成し遂げられないプロジェクトの方が多い。他の会社のメンバーと協力して行う必要があるため、われわれの業界は仲が良いと言える」と語った。その上

で「今日、隣に座っている（他の会社の）人が10年後の仕事のパートナーになる可能性もある」とし、「われわれの団体の活動などで多くの仲間を見つけてほしい」と呼び掛けた。

セミナー前半は「これからの時代に求められるビジネスマナー・コミュニケーション」と題し、コミュニケーション研修などを手掛けるKEE'Sの東村絵理氏が講師を務めた。社会人として重要なマナーやコミュニケーション方法について、新入社員による実践

を交えながら講演した。

AIによって自動化が進む昨今、企業が人に求める価値が変わっていると切り出し、「意義や意図を考える力」「共感や尊重」によって信頼関係が築かれると説明。マナーも同様に「人を思う気持ちが起点となっている」と説いた。決まった作法に落とし込むだけでなく、相手の背景などを考えて心が伝わるようなコミュニケーションを心がけてほしいと語った。

第一印象を良くするためのポイントを解説した。笑顔は、最初のあいさつや話の途中などで程度を使い分けることが重要で、母音やトーンを意識した口の動かし方によって、明るく聞き取りやすい声になるという。話の内容は「結論」「理由」「理由の詳細」の順で話す論理的になる。最後にもう一度結論を述べることで、情報をよりインプットできるとアドバイスした。

作法だけでなく、
相手の背景を考えて



KEE'S
東村絵理 氏



聞き手としては、柔らかい表情や相手への視線、相づちが重要になる。「相手が話したことを受け止め、共感、理解し、その気持ちを言語化しながら傾聴する」よう求めた。

参加者は、隣り合う他社の新入社員と二人一組などでコミュニケーション方法を実践。壇上で披露する機会になると、多くの参加者が積極的に立候補し、堂々と成果を示していた。

東村氏は「コミュニケーションが活発になると、仕事はものすごくスムーズになり、人間関係も豊かになる。第一印象を上げるために、今日話したスキルを覚えて帰っていただけたらうれしい」と締めくくった。

情理の分かるITリーダーに

続いて、日本HP代表取締役の岡戸伸樹氏が「2026年度新卒・新入社員の皆様への期待とエール」と題して講演した。冒頭に「新卒、新入社員は即戦力」「IT企業は日本の将来を支える重要な仕事」「情理の分かるITリーダーへの成長の期待」とメッセージを示した。

岡戸氏は自身のキャリアを振り返り、「やりたいこと」と「得意なこと」が重なる部分を大きくすることを大切にしていると述べた。若いときは「やりたいこと」に傾いていたが、年齢を重ねると「得意なこと」の軸が強まったという。「得意なことで成功し、貢献できる、評価される、この喜びを知ったためだと思う」と回顧した。

メッセージの一つめである「新卒、新入社員は即戦力」について、コンピューティングコストの低下やAIの活用で、情報収集が容易にな

(P03に続く)

AIで「失敗のコスト」は大幅に低下

り、失敗のコストが大幅に低下していると指摘。一次情報が重要になっていることから現場、現物、現実の「三現主義」の実践を呼び掛け、「経験の差を気にする必要はない。皆さんの若さとフットワークが、現代のビジネスシーンにおける最強の即戦力だ」と導いた。

メッセージの二つめとして、社会の中でのITの重要性を説いた。他国と比較すると日本の労働生産性は低迷しており、限られた時間の中で高い付加価値をもたらすITが必須になっているため、「皆さんの活躍が日本の将来を決める」と鼓舞。情報にあふれた社会では販売店が「製品やサー



日本 HP
代表取締役
岡戸伸樹 氏

ビスとお客様をつなぐラストワンマイル」と期待を寄せた。

最後の「情理の分かるITリーダーへの成長の期待」で強調したのは、事実と論理だけではなく、HPの創立時からの理念「HP Way」の根底にもある、感情と倫理を持った考え方だ。過去のデータから正解を導き出す現在のAIのアプローチからは、「真の多様性は生まれない」と指摘。

人間社会の曖昧さ、グラデーションを理解した上で、AIだけに判断を任せずに突き進んでほしいと語った。

SAJ × JCSSA 共催 第167回 SAJビジネスコミュニティ

April

4月

会員企業間のマッチングを図る

4月22日、ソフトウェア協会（SAJ）との共催で「第167回 SAJビジネスコミュニティ」を東京の山王保健会館で開催した。両協会の企業間における事業機会と交流の場となるイベントで、昨年度までのハイブリッド開催から、今年度は対面開催に切り替えた。

特別講演では、SAJ会長でさくらインターネットの代表取締役社長を務める田中邦裕氏が、業界団体のようなコミュニティの力の重要性和、今回のようなイベントの今後を展望。続いて、パートナー管理システムを提供する deex、生成 AI によるバーチャルスタッフを派遣するディスカバリーズ、オフィス・ワークプレイス設計を行うサンニン、LINE WORKS で管理・現場業務を効率化するトリプルアイズの4社がプレゼンテーションを行った。

次回は7月22日に同会場で開催する。



SAJ田中会長も
「場」の大切さを強調

第12回新会員歓迎懇親会

April

4月

JCSSAの新たな仲間を歓迎



17社が協会関係者との交流を深めた

4月22日、大塚商会本社内の「大塚倶楽部」にて、2025年11月から2026年1月に入会した新会員を招き、協会幹部と相互交流を深めていただく懇親の機会をもった。大塚裕司名誉会長による挨拶に続き、林会長の乾杯の発声により開会し、各社紹介の時間を設け、会場では活発な交流が行われた。その後、玉田副会長による中締めをもって、盛況のうちに終了した。

当日は新会員17社30名、協会幹部・関係者43名の合計73名が参加した。次回は7月に開催する予定。

管理職研修(前半)

May

5月

部下の能力を引き出すマネジメントを学ぶ

5月15日、東京の山王健保会館で会員企業の管理職および管理職候補を対象に、毎年好評をいただいている管理職研修の前半（期初・期中編）を実施した。講師は、プレイフルキャリア研究所代表でキャリア開発コンサルタントの五十嵐郁一氏。

本研修では、管理職に求められる目標設定や部下育成のポイントについて学ぶとともに、ケース演習やロールプレイング、グループワークを通じて実践的なスキルの習得を図った。受講者からは、「ちょうど目標設定の時期で非常に参考になった」「他社の管理職と意

見交換ができ、有意義だった」といった声が寄せられた。

また、部下の成熟度に応じてリーダーシップのスタイルを変えるべきとするSL理論（Situational Leadership、状況対応型リーダーシップ）についても、「改めて腑に落ちた」との感想が聞かれるなど、実務に直結する学びの機会となった。アンケートでは受講者全員が「満足」または「大



演習も交えて実践的なスキルを習得

変満足」と回答しており、会員同士が互いの経験や課題を共有しながら学び合う、活気ある研修となった。

後半は10月9日に開催する予定。

2026年度第1回セキュリティセミナー

May

5月

ランサムウェアに感染、その時会社は

5月12日、東京の大久保健保会館で今年度1回目のセキュリティセミナーを開催した。昨年度までオンラインで実施していたが、今回初の対面開催となり、会員企業30社から70名の参加をいただき会場は満員だった。

「サイバー攻撃からの復活。一会社を守り抜くための判断の軌跡」のタイトルで講演いただいたのは、兵庫県尼崎市に本社を置き物流サービスを展開する、関通ホールディングスで代表取締役会長を務める達城久裕氏。同社は2024年、大規模なランサムウェア攻撃に襲われ出荷業務が停止に追い込まれた。セミナーでは当時社長を務めていた達城氏が事態にどのように対処したか、生の体験をお話いただき、聴講者はすべての企業がサイバーリスクを「自分ごと」として考えるべきとの思いを新たにした。



生の体験談に聴講者の表情も真剣

関西交流会

June

6月

大阪で協会内外の交流を深める



立食での懇親会と、翌日にゴルフ交流会も実施

6月5日、日本ビジネスシステムズ大阪事業所内の「Lucy's Osaka」にて関西交流会を開催し、34社64名（うち招待企業4社8名）が参加した。招待企業に向けたJCSSAの概況説明に加え、立食形式で名刺交換や懇談が活発に行われ、会員・非会員の枠を越えて関西地域での新たなつながりやビジネス創出の機会が広がる有意義な場となった。翌6日には兵庫県神戸市の武庫ノ台ゴルフコースにてゴルフ交流会も実施し、参加者同士の親睦をさらに深める機会となった。



定時総会／サマーセミナー／懇親会

多様な人材活躍の風土を

JCSSAは6月16日、定時総会とそれにあわせて実施しているサマーセミナーおよび懇親会を帝国ホテル東京で開催した。セミナーでは、早稲田大学大学院早稲田大学ビジネススクール教授の入山章栄氏に「AI時代の経営戦略と組織進化 創造性と競争力を両立する未来の働き方」と題して講演いただいた。セミナー終了後の懇親会では、新任理事の紹介などがあり、全国各地から参加した大勢の会員が交流を深めた。



早稲田大学大学院
早稲田大学ビジネススクール教授
入山章栄氏

入山氏はまず、AIの普及によって「OPC（One Person Company：1人企業）」が現実になりつつあると指摘。「アフターAI企業」は少人数でも大きな成果を生み出せる一方、既存企業には抜本的な経営変革が求められるとした。また、「AIは誰もが使うため、それだけでは競争優位の源泉にはならない」とし、企業固有のデータを活用した「プライベートAI」と人間の強みとを組み合わせることが本命だと強調した。



JCSSA
林 宗治 会長

その上で重要なのが「戦略よりも、人と組織の変革だ」と説く。企業は既存の仕組みに縛られる「経路依存性」が強く、部分的ではなく全体的な変革が必要だと指摘。変革の中核となるのが「人事」であり、AI時代のDXは人材配置や評価制度の抜本的な見直しと一体で進めるべきだと強調した。

イノベーション創出については、「知の探索」と「知の深化」の両立が不可欠だと説明。効率化を進める「深化」はAIが得意とする領域だが、新しい知の組み合わせを生み出す「探索」は人間にしかできない。「発想力は移動距離に比例する」と述べ、物理的な移動や人との交流、失敗を許容する姿勢の重要性を訴えた。

さらにAI時代の仕事の構造として「上流と下流の価値が高まり、中流は価値が下がる」と提示。中間管理や調整業務はAIに代替される可能性が高い一方、現場で顧客と向き合う「感情労働」の重要性は増し、営業職の価値は上がるとの考えを示した。

入山氏は「AIが無駄を省いて確実にこなす一方、意思決定し責任を取る役割は人間にしか担えない。企業には人材と組織の抜本的な見直しが求められる」と結んだ。

定時総会では、新たな理事・監事10名を含む理事・監事選任



の承認を求める第3号議案を含む全ての議事が、会員の皆様のご協力により滞りなく承認された。懇親会では、林宗治会長が「協会創設の精神に立ち返り、ベンダーと販売店の健全な関係のもとで業界の発展につ

なげていきたい」と意気込みを語った。林会長は、経済産業省の制度に対する提言活動や、ハードウェア不足や価格高騰、クラウド事業者との関係など業界課題にも触れ、「販売店の立場から制度に対して適切に声を上げる団体でありたい」と述べた。

また、経済産業省商務情報政策局情報技術利用促進課長の渡辺琢也氏から来賓あいさつをいただいた。新たに承認された理事8名を紹介した後、Dynabook代表取締役社長の渋谷正彦氏による乾杯の音頭で開宴。参加者同士で交流を深め、会場は大いに盛り上がった。

議案

- 第1号議案 2025年度事業報告承認の件
- 第2号議案 2025年度決算承認の件
- 第3号議案 理事・監事選任の承認を求める件

報告事項

- 報告事項1 2026年度事業計画について
- 報告事項2 2026年度収支予算書について



定時総会議案書

https://www.jcssa.or.jp/about_index/about_public/



役員名簿

https://www.jcssa.or.jp/about_index/about_list/



新年度スケジュール

https://www.jcssa.or.jp/about_index/about_schedule/

New Member!

月別社名五十音順
協会代表者役職名 / 氏名

April

4月



アヴァント株式会社

<https://avant-sl.com/>

部長 前川 篤



株式会社 NSK

<https://n-sk.jp/>

代表取締役 近藤 一衛



株式会社 NTT データ・ウィズ

<https://www.nttdata-with.com/>

部長 芦辺 美保子



株式会社 FWS

<https://www.4wins.co.jp/>

代表 庄司 信一



株式会社 COEL

<https://coel-inc.jp/>

代表取締役社長 深見 和久



豊田通商システムズ株式会社

<https://www.ttsystems.com/jp>

本部長 山内 史大



一般社団法人日本クラウド産業協会

<https://www.aspicjapan.org/>

会長 河合 輝欣



プリマックス株式会社

<https://www.primax.co.jp/>

常務取締役営業本部長 吉田 正隆



ペリドットキャピタルソリューションズジャパン合同会社

<https://gscf.com/>

Specialist 師井 英世



株式会社 MAYA STAFFING

<https://mayastaffing.com/>

本部長 稲村 信孝

May

5月



コグニザントジャパン株式会社

<https://www.cognizant.com/jp>

製造・流通・通信事業統括 常務執行役員 五十嵐 毅



一般社団法人日本プレインランゲージ協会

<https://japl9.org/>

代表理事 浅井 満知子



株式会社東日本計算センター

<https://www.eac-inc.co.jp/>

代表取締役社長 鷲 弘樹



株式会社レイコム

<https://www.laycom.co.jp/>

取締役常務 吉見 孝信



株式会社 ecbeing

<https://www.ecbeing.net/>

営業本部 執行役員 後藤 行正



株式会社 WellCoLab

<https://wellcolab.jp/>

代表取締役 CEO 石原 洋介



株式会社ジーンステイト

<https://genestate.co.jp/>

IT 事業部 取締役 深川 慎之介



SoftwareONE Japan 株式会社

<https://www.softwareone.com/ja-jp>

代表取締役 長谷川 憲司



株式会社電巧社

<https://de-denkosha.co.jp/>

SI 事業部 副事業部長 / セールスディレクター 石渡 克美



東京エレクトロン デバイス株式会社

<https://www.teldevice.co.jp/>

クラウド IoT カンパニー バイスプレジデント 西脇 章彦



株式会社ネオジャパン

<https://www.neo.co.jp/>

営業事業部 取締役 営業事業部長 早馬 一郎



松浦雄一郎税理士事務所

税理士 菅 香清



MING 株式会社

<https://www.m-ing.co.jp/>

代表取締役社長 大崎 兼貴

July

7月

韓国 IT 企業視察ツアー

日時 7月7日(火)～11日(土)

場所 韓国

SAJ × JCSSA 共催 第168回 SAJ ビジネスコミュニティ

詳細・お申込み <https://forms.cloud.microsoft/r/3aBJUG11Ww>

日時 7月22日(水) 15:30-17:00

場所 山王健保会館 東京都港区赤坂 2-5-6

第13回新会員歓迎懇親会

日時 7月22日(水) 18:00-20:00

場所 大塚商会本社・大塚倶楽部 東京都千代田区飯田橋 2-18-4

August

8月

真夏の商談会

お申込み <https://forms.cloud.microsoft/r/nEwARRZeDn>

日時 8月3日(月) 13:00-17:30

場所 ハイブリッド開催 ダイワボウ情報システム東京本社 東京都港区三田 3-5-19 住友不動産東京三田ガーデンタワー 11F | Zoom ミーティング

人事総務情報交換会

お申込み <https://www.jcssa.or.jp/seminar1/?semlid=202607060001>

日時 8月21日(金) 14:15-18:30

場所 山王健保会館 東京都港区赤坂 2-5-6

第1回 AI 勉強会

日時 8月31日(月) 13:00-14:00

場所 Zoom ミーティング

第1回ニューノーマル AI ビジネス会議

詳細・お申込み <https://www.jcssa.or.jp/seminar1/?semlid=202607140001>

日時 8月31日(月) 14:10-15:10

場所 Zoom ミーティング

September

9月

第1回情報システム取引者育成プログラム基礎講座(前半)

日時 9月3日(木) 14:00-15:00

場所 Zoom ウェビナー

第1回 AI 販売会議

日時 9月4日(金) 13:00-14:00

場所 Zoom ミーティング

第1回情報システム取引者育成プログラム基礎講座(後半)

日時 9月10日(木) 14:00-15:00

場所 Zoom ウェビナー

DX 推進指標活用の説明会

日時 9月16日(水) 11:00-12:00

場所 Zoom ミーティング

SAJ × JCSSA 共催 第169回 SAJ ビジネスコミュニティ

日時 9月16日(水) 15:30-17:00

場所 山王健保会館 東京都港区赤坂 2-5-6

中部交流会

日時 9月25日(金) 17:00-19:00

場所 日本ビジネスシステムズ名古屋事業所・Lucy's Nagoya 愛知県名古屋市中村区名駅 4-8-18 名古屋三井ビルディング北館

50周年を迎え、感謝の想いを込めて

理事 細野昭雄

多くの方々に支えていただき、おかげさまで
当社も今年で50周年を迎えることができました。

この節目で約10年ぶりに、金沢の伝統の一つである「お座敷太鼓」を体験しました。出囃子の曲に合わせて、太鼓にこれまでの感謝の想いを込めさせていただきました。

人生もビジネスも、一打ち一打ちの積み重ねが大切です。全体としてのリズムと周りとの調和を自分自身も楽しみ、そして何よりもお客様に喜んでいただけることが、永く続けるうえで大切だと、あらためて実感したひとときでした。



久しぶりに出囃子の曲に合わせて
お座敷太鼓を体験

JCSSA 事務所のご案内

100-6208

東京都千代田区丸の内 1-11-1

パシフィックセンチュリープレイス丸の内(受付13階)

TEL:03-6860-8254



JR「東京駅」京葉線連絡 徒歩4分

JR「東京駅」八重洲南口 徒歩5分

東京メトロ銀座線「京橋駅」徒歩5分